

# 医療連携だより

平成30年9月

編集: 仙台市立病院総合サポートセンター医療連携室 〒982-8502 仙台市太白区あすと長町1丁目1番1号 (代表) 022-308-7111

Tel 022-308-9920 (医療連携室直通) Fax 022-308-9921 (直通)

# 病院機能評価認定を取得しました





# 仙台市病院事業管理者 亀山 元信

登録医はじめ諸先生方には、日頃より当院の病院運営について深いご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

さて、2017年11月15、16日の2日間、日本医療機能評価機構のサーベイヤー6名による訪問審査を受審し、2018年4月6日付で認定を取得しました。元々当院は若林区五橋の旧病院時代の1998年に病院機能評価の認定を取得し、その後2回の更新認定を継続しておりました。しかし、3回目の更新期限が新病院移転開院1年半前という多忙極まりない準備期間に重なったこと、また旧病院で受審・認定を受けたとしても、新病院移転後は施設が変更になるため改めて受審する必要があることなどから更新を見送った経緯がありました。新病院移転後も電子カルテの導入、診療科増設、精神科病棟の再開、旧病院跡地売却など様々な業務に忙殺される中で、病院機能評価受審もpendingの状態が続いていましたが、この病院機能評価が診療報酬や施設基準に影響する要件となることも散見されるようになり、昨年度の受審を決定いたしました。

今回の病院機能評価は第3世代(3rdG: Ver.1.1)に該当し、従来の評価が病院の体制・規定・手順書・マニュアルなど構造的な側面(ストラクチャー)に重点が置かれていたのに対し、臨床の現場で展開される診療・ケア・業務の流れなど活動状況(プロセス)に重点を置いた評価となっているのが特徴です。受審の方針決定後に4領域の専門部会で構成される病院機能評価受審推進委員会を立ち上げ、模擬審査を含め約1年半の準備期間を経て、本番の訪問審査に臨みました。

職員一丸となった取り組みの結果、病院機能評価認定となりましたが、これは決してゴールではなく、より質の高い医療を提供するための中間地点と捉えています。今後も日々の業務を不断に見直し、医療の質改善の取り組みを継続していくことが重要と考えておりますので、先生方におかれましても当院の運営につきまして、お気付きの点などがございましたら忌憚なくご意見を賜りますようお願い申し上げます。

# 公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価認定のお知らせ

仙台市立病院は、2018年4月6日付で、公益財団法人日本医療機能評価機構による 「病院機能評価 (3rdG:Ver1.1 一般病院2)」の認定を取得しました。(認定期間:2018年4月6日~2023年4月5日)

当院が提供する医療が、第三者機関により一定の水準を満たしていると認められたものであり、今回の認定を一つの励みとしつつ、 今後も引き続き、安全安心な医療を提供してまいります。

#### 病院機能評価とは

病院組織全体の運営管理および提供される医療について、公益財団法人日本医療機能評価機構が中立的、科学的・専門的な見地から評価を行い、病院の質改善活動を支援するものです。病院機能評価により、一定の水準を満たした病院は「認定病院」となります。認定病院は、地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、日常に努力している病院であると言えます。

# 新任医師着任のご挨拶・

外科兼心外科 医長 河村 圭一郎

. Keiichiro Kawamura

7月に着任いたしました。青森県八戸市出身で、平成18年に秋田大学を卒業、旧仙台社会保険病院(現JCHO仙台病院)にて外科研修ののち、東北大学第二外科血管班に入局しました。大

学院卒業後は、東北大学病院、JCHO仙台病院にて研鑽を積んでまいりました。専門分野は血管外科で、腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症に対する外科治療、カテーテルを用いた血管内治療を専門としており、当院では一般外科診療にも携わっていく予定です。旧病院時代にも2か月だけ勤務経験がありましたが、新病院へ着任となり、最新の病院設備や治療機器に触れ、時代の流れを感じております。当院では、これまでに学んできた外科、血管外科診療を通じて、地域の医療機関の皆様のお役に立てるよう努力して参ります。まだ不慣れな部分も多く、ご迷惑をおかけすることと思いますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。



医員 髙橋 俊成

Toshinari Takahash

7月に着任致しました。平成22年卒で初期研修2年,後期研修2年を当院でお世話になりました。その後東北大学病院・岩手県立中央病院・宮城県立こども病院で臨床経験を積ませていただき今回

着任の運びとなりました。専門は小児科の中でも特に腎疾患です。

当院は仙台市の小児救急病院として様々な小児疾患を扱っており、その中には腎疾患として尿路感染症や先天性腎尿路異常,電解質異常の児も含まれております。また、ネフローゼ症候群や腎炎といった慢性疾患の患児の管理なども行っており、多彩な症例を扱っております。これまでに学んできた知識を生かして腎疾患だけでなく小児救急医療を扱う病院のスタッフとして診療にあたらせていただきたいと考えております。

まだまだ未熟ではありますが地域の先生方のお役に立てるよう 努力してまいります。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申 し上げます。

#### 産婦人科

#### 医員 遠藤

俊

Shun Endou

5月より着任いたしました。平成26年に旭川 医科大学を卒業後、石巻赤十字病院で初期研修期 間を含む3年間、気仙沼市立病院で1年間と東日 本大震災で被害の大きかった地域で研鑽を積んで



まいりました。いずれの病院も地域の中核病院として、あらゆる症例に対応する必要がありましたので、その中で多くの経験をさせていただきました。このたび初めて仙台の病院勤務ということで、楽しみと緊張が入り混じる異動でした。当院産婦人科は分娩件数年間1000件にせまり、婦人科救急も多いため微力ながら貢献できることも多く、とてもやりがいのある環境にいれることをうれしく思います。これまで石巻、気仙沼で実践してきた『断らない医療』を継続したいと思います。

現在3児の父親でもあるのですが、これまでは妻が北海道に里帰り分娩をして参りました。第4子にして初めて当院で分娩を扱う予定で、こちらも楽しみにしております。

至ら<mark>ぬ点も多いと思いますが、精進して</mark>参ります<mark>の</mark>でご指導ご 鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

小児科

医員 新妻 創

Sou Nitsuma

7月に着任いたしました。私は宮城県白石市出身で、平成22年に福島県立医科大学を卒業後、初期研修の2年間と小児科医として後期研修の1年間を当院でお世話になりました。その後は東北



大学医学部小児病態学分野に入局し、大学病院で半年間、仙台赤十字病院新生児科で半年間、総合研修として石巻赤十字病院で1年間勤務し、大学院へ進学して東北大学大学院医学系研究科病理病態学講座免疫学分野で3年間、ネフローゼ症候群と免疫担当細胞に関する研究に携わり学位を取得しました。大学院修了後は東北大学病院で小児腎臓分野の臨床経験を積ませて頂きました。6年ぶりに戻ってきた当院ですが、新病院となって大変きれいで設備も整っており、時代の流れを感じています。まだまだ未熟ではございますが、地域の先生方のお役に立てるよう精一杯努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

## ※※※「加算料」の改定と新設のお知らせ

先般、国により行われました平成30年度診療報酬改定におきまして、地域の医療機関からの紹介状をお持ちにならずに受診した患者さんに対して、国が定める基準金額以上の負担を求めることが義務付けられる病院が拡大され、当院もその対象になりました。

つきましては、本年10月1日より、以下の取り扱いとなりますので、お知らせいたします。

#### ◎「非紹介患者初診加算料」が変わります

他の医療機関からの紹介状をお持ちにならずに、初めて来院される方、又は受診される科が初めての方には、「非紹介患者初診加算料」をお支払いいだたきます。

・医科 (現在) 3,240円 → (改正後) 5,400円 (税込) ・歯科 (現在) 3,240円 → (据置き) 3,240円 (税込)

#### ◎「再診患者加算料」を新たに定めます

当院での必要な専門的治療が終わり、地域の医療機関へ紹介された方で、他の医療機関からの紹介状をお持ちにならずに再受診された方には、「再診患者加算料」をお支払いいただきます。

· 医科 (新設) 2,700円(税込) · 歯科 (新設) 1,620円(税込)

注) 「紹介・予約制外来」ではない小児科の患者さんには、上記加算料のお支払いは 求めません。



# 平成30年度 仙台市立病院地域連携のつどい開催のお知らせ

地域完結型医療を推進するため、「仙台市立病院 地域連携のつどい」を開催いたしますので、登録医 の先生方をはじめとした医療関係者に加え、保健、 福祉の関係機関の方々にもご参加いただき、地域連 携をさらに円滑に推進してまいりたいと考えており ます。

ご多用のこととは存じますが、ぜひご参会下さい ますよう、ご案内申し上げます。

- · 日時 10月19日 (金) 19:00~21:00
- ・会場 ホテルメトロポリタン仙台 4階
- · 内容 · 「診療科紹介」 血液内科、 感染症内科、精神科、病理診断科
  - ・「化学療法室のご紹介」(がん化学 療法看護認定看護師)

(写真は昨年の様子です)





### ふれあいまつり開催のお知らせ

市民の皆さんに当院をもっと知っていただくため、ふれあいまつりを開催します。

- · 日 時 9月29日(土)10:00~14:00
- ・会 場 市立病院 1 階エントランスホールほか
- ・内 容 健康チェックコーナー、栄養相談会、イベントステージ など
- ・詳しくはホームページhttp://hospital.city.sendai.jpをご覧いただくかお問い合わせください
- ・問い合わせ 市立病院総務課

(写真は昨年の様子です)





## 就労支援シンポジウム開催お知らせ

平成29年度から実施している仙台市市民協働事業による『がん患者 等に対する再就職支援及び就労継続支援』の一環としてシンポジウム を開催します。

講演とパネルディスカッションの2部構成です。講演では、自身もがんサバイバーとして仕事と治療の両立支援に注力するキャリアカウンセラーの「砂川未夏様」が登壇予定。パネルディスカッションでは、本事業で就労支援を実施した患者様と医療関係者、企業側の人事担当者に登壇いただき、それぞれの立場から仕事と治療の両立について討論していただきます。

· 日時: 10月6日(土)

・会場:日立システムズホール3階エッグホール

・開場:12:30~ ・講演:13:00~14:00

・講演:13:00~14:00 ・パネルディスカッション:14:10 ~ 15:00

・問い合わせ

市立病院総合サポートセンター医療相談室



## 当院医師のスマイルをリレー方式でご紹介します。







子供の頃から雲や星の観察が好きです。小2の時に近所のガキ大将にそれなら君に登山というものを教えてあげよう、空が近いよ、と言われ盃山という里山に連れて行かれました。その山は山頂まで僅か10分でした

が、以来40年近く山を歩くようになりました。山頂を目指すことが目的ではなかったので百名山も滅多に行きませんし登山の方法もこだわりがないので車道があればバイクで行ってしまいます。最近はたまに太白山や泉ヶ岳あたりで空を眺めて気

晴らししたりしております。 市立病院からも蔵王や阿武隈 の山々の眺めが素晴らしいで すが最近あすと長町もビルが 増えてきて南の方は徐々に見 えなくなってきて残念です。 自然と共存できる街になると いいですね。



Pass the baton 次号は、同じ大学のサークルの仲間(ワンデルング会)の整形外科 入江太一先生です。

# 医師異動のお知らせ

採用8月1日付 脳神経外科レジデント	加藤 侑哉 (カトウ ユウヤ)
8月6日付 放射線科医員 9月1日付	柳垣 聡(ヤナガキ サトル)
産婦人科レジデント	仲野 靖弘(ナカノ ヤスヒロ)
退職 7月31日付 脳神経外科レジデント 8月31日付	勝木 将人(カツキ マサヒト)
小児科医長	西尾 利行(二シオ トシユキ)

# 【医療連携に関する状況】

紹介率

4 月 80.5 ½ 5 月 78.4 ½ 逆紹介率

4 月 99.9 % 5 月 83.7 <u>%</u>

6 月 78.6 % 6 月 86.8 % 医療連携に関するご意見やご要望等がございましたなら、医療連携室までお寄せ下さい。 TEL 022-308-9920 (直通)



# 外来診療担当医表

(平成30年9月1日現在)



#### 小児科を除くすべての診療科が紹介・予約制外来となります 〈受診には、診療情報提供書(紹介状)と診療予約が必要です〉

	診療科	受付終了	月	火	水	木	金
内 「	科 # #				业 <b>中</b> 古厂		八手拉取中
	新患 再来	11:00	奥田 光崇 八重柏政宏	中山 謙二 芦野 有悟		秋保 直樹   中山 謙二	八重柏政宏 突田真紀子
						「血液」山本	「腎臓」秋保
	専門再来		「血 液」山本 「腎 臓」中山	「血液」氷室 真仁 「呼吸器」柳澤(応援医師)	「血 液」奥田 「呼吸器」二瓶	「糖尿病·高血圧」樋渡 「呼吸器」佐藤(応援医師)	「糖尿病・高血圧」樋渡 「呼吸器」 芦野(午後)
糖尿病	病・代謝内科		T =				T
	新患/再来	11:00	田中満実子	檜尾 好徳	山田高弘	田中満実子	山田 高弘
当化品	再 来 器内科		檜尾 好徳	山田 高弘	田中満実子	檜尾 好徳	檜尾 好徳
יטופו			菊地 達也(奇数週)	W++ B=	AA+ #100	<b>=</b> ₩ <b>7</b> +	# +*
	新 患 ————————————————————————————————————	11:00	野村 栄樹(偶数週)	川村 昌司	鈴木 範明	長崎太	境 吉孝
	再 来	11.00	鈴木 範明 尾形 洋平	平塚 敬士	長﨑 太 野村 栄樹 矢野 恒太	境 吉孝 川村 昌司 大山 秀晃	ன地 達也 長崎 太 松本諒太郎
盾環	器内科					, (2 )3,0	124 1 000 (02)
	新患		佐藤 弘和	山科 順裕	青木 恒介	石田 明彦	三引 義明 中川 孝
	æ vi	11:00	石田 明彦	U+ ±5+	鈴木 啓資	### # <b>-</b>	中川 孝   三引 義明
	再 来		井筒琢磨(午後)	八木 哲夫	三引義明	佐藤 英二	中川 孝
	専門外来		「不整脈」八木哲夫 9:00-	「ペースメーカー」石田明彦 13:00-	「不整脈」佐藤弘和 9:00-		
申経[	内科						
	新 患	11:00	樋口じゅん	樋口じゅん	遠藤 薫	中村 尚子	小川 諒
	再来	11.00	中村 尚子	担 当 医	小川 諒	遠藤 薫	樋口じゅん
外 (手術	科 lī:月•水•金)	11:00	高屋 潔(午前)(再来のみ) 関口 悟 櫻井 遊(午後)	高屋 潔(午前)(再来のみ) 櫻井 遊 植松 智海	佐山 淳造 櫻井 遊 瓶子 隆弘	佐山 淳造 貝羽 義浩	紹介外来 菊池 寛 米田 海
	血管外科 計:水)	11:00	渡辺徹雄	渡辺 徹雄	NO 3 PE JO	河村 圭一郎	外山 秀司
整形点	外科 『:火・木・金 午前)	11:00	阿部 博男 佐野 博高 佐藤 雄紀	猪苗代 敬野口 森幸	阿部 博男 入江 太一 佐々木大蔵	佐野 博高 佐々木大蔵	入江 太一 猪苗代 敬 野口 森幸
形成: (手術	外科 fi:月•木 午前)	12:30~ 15:00	小坂 和弘	小坂 和弘	小坂 和弘	小坂 和弘	小坂 和弘
	経外科 fr:月•金)	11:00	刈部 博	刈部 博 成澤あゆみ	刈部 博 成澤あゆみ	刈部 博	刈部 博
小児	!科	11:00	小野 頼母 新妻 創 髙橋 俊成	北村 太郎 新田 恩 梅津 有紀子	大浦 敏博 新田 恩 星 雄介	守谷 充司 小野 頼母 髙橋 俊成	大浦 敏博 北村 太郎 星 雄介
	専門再来		「先天代謝」大浦 「神経」北村	「神経」守谷 「腎」新妻	「神経」守谷 「腎」髙橋	「循環器」村田・新田 「神経」北村 高柳(1,3週)	「発達支援」守谷/小野
産婦,	人科 (手術:月	ョ・水・金	)				
	新 患 ※随時交替あり		早坂 篤 今井 紀昭 中西(応援医師)	大槻 健郎 早坂 篤	大槻 健郎 早坂 篤 今井/宇賀神	早坂 篤喜田川(応援医師)	大槻 健郎 今井 紀昭 京器神知名
	再 来	11:00	宇賀神智久	今井 紀昭 赤石 美穂	マ群/子貝种 平賀/担当医	宇賀神智久 大槻 健郎	宇賀神智久 早坂 篤
	<del></del>		羽根田 健 遠藤 俊	平賀 裕章 担当医		今井 紀昭 羽根田 健	赤石 美穂 担当医
		11:00	※交替制	小倉 正樹 吉田 拓矢 小泉祥太郎	※交替制	嵯峨井 俊 吉田 拓矢 小泉祥太郎	※交替制
恨 (手術	科 fi:月•火•木)	10:30	桑原創一郎 萱場 寛子 山田絵里香	桑原創一郎 萱場 寛子 山田絵里香	桑原創一郎 萱場 寛子 山田絵里香	桑原創一郎 萱場 寛子 山田絵里香	桑原創一郎 萱場 寛子 山田絵里香
支膚(手術	】科 近:木)	11:00	草刈 良之 鍵本香子(午前)	草刈 良之 高橋 愛	草刈 良之 鍵本 香子	草刈 良之 高橋 愛 (木曜は予約のみ)	草刈 良之 高橋 愛 鍵本香子(午前)
	器科 fj:火•木)	11:00 火·木	石戸谷滋人 青木 大志	担 当 医	石戸谷滋人 大原英一郎	担当医	青木 大志 大原英一郎
攻射		10:30	木村 信吾 津田 雅視	津田雅視	木村 信吾 津田 雅視	津田雅視	木村 信吾 津田 雅視
		午後	佐藤 友美	佐藤 友美 放射線治療(新患)	佐藤 友美	佐藤 友美	佐藤 友美
			袖山 直也		hele pro-	ht	袖山 直也
	科・緩和ケア外来 (ンクリニック)	11:00	東海林秀幸 いずれかの医師が交代で	筆田 廣登 で担当します	筆田 廣登	筆田 廣登	東海林秀幸
		11:00	相場 信彦 樋口 景介	相場 信彦 樋口 景介	相場 信彦 樋口 景介 永井 (応援医師)	相場 信彦 樋口 景介	相場 信彦 樋口 景介

※救急の場合は、Tel(O22)308-7111(代)にお電話いただき、「救命救急センター外来へ」とお伝えください。

※新患及び再来の受付開始時間は8時30分(形成外科は12時30分)からとなっております(終了時間は診療科によって異なりますので、ご注意ください)。 ※休診日は、土曜、日曜、祝日(振替休日を含む)、年末年始(当該年の12月29日~翌年の1月3日)となります。

<sup>※</sup>この表は随時変更することがあります。詳しくは当院ホームページをご覧ください。URL:http://hospital.city.sendai.jp/customer/gairai.html